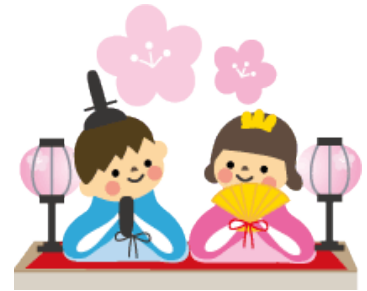


# 館報 よしい

2019年  
3月号  
平成31年

吉井地区平成31年1月末現在（前月比）

人 口	男 1, 127人（- 1人）
	女 1, 252人（± 0人）
	計 2, 379人（- 1人）
世帯数	1, 073戸（- 2戸）



西条市吉井公民館 西条市玉之江235-2 ☎0898-64-3001

## 笑ってこころのリフレッシュ

— 健康づくり推進員学習会開催 —



平成31年2月5日（火）に、吉井公民館で吉井地区健康づくり推進員学習会として 芸乃 鶴飼 さんによる「落語会」が開催されました。

来場者の皆さんは、楽しい落語を聞いてこころをリフレッシュできたので、今年も笑って暮らせる、良い1年となりますと話していました。

# 西条市公民館フェスティバル開催

## — 地域交流・生涯学習の推進 —

▼吉井公民館作品展示（押し花）



▼舞台発表（トンカカはん熱演中）



平成31年1月20日（日）、「第14回西条市公民館フェスティバル」が西条市総合文化会館で開催されました。

西条公民館・吉岡公民館の活動実践事例発表に始まり、市内29か所の公民館で活動しているサークルが一堂に会して、舞台発表や作品展示、トールペイント・コケ玉づくりなどの体験コーナーを開設して終日来場者で賑わいました。

吉井地区からは、よつば（押し花サークル）が出品し、手の込んだ作品で来場者を魅了しました。また、舞台発表では、石田トンカカはん保存会が橘地区の方と合同で、伝統文化の継承と後継者育成を目指して、交流と練習を重ねた踊りを披露しました。市の無形民俗文化財「トンカカはん」をこれからも大切に保存できるようにご協力をお願いします。



### 東予南保育所節分豆まき

#### — 鬼はそと 福はうち —

平成31年2月1日（金）に、東予南保育所で節分豆まきが行われました。

園児たちは、赤鬼青鬼に「鬼はそと、福はうち」と大きな声をかけながら豆をぶつけ、保育所内をにげまわる鬼たちを退治（邪気払い）していました。

### ◎子育て講演会開催◎

#### 吉井小学校・PTA

平成31年1月18日（金）吉井公民館で、誕生学アドバイザーの高見佐智恵先生による【いのちの話～生まれてきてくれてありがとう】の講演会が開催されました。

受講者からは、「生まれてきてくれた我が子を大切にしていきたいと思いました」等の感想がありました。



— ご案内 —  
 □□ 新刊図書紹介 □□  
 吉井公民館図書貸出コーナー

新刊図書を購入しました。貸し出しをしておりますのでご利用ください。

- 平成くん、さようなら : 古市 憲寿
- 医者の本音 : 中山 祐次郎
- さみしさの研究 : ビートたけし
- なんとめでたいご臨終 : 小笠原 文雄
- メモの魔力 : 前田 裕二
- 1R1分34秒 : 町屋 良平
- 二ムロッド : 上田 岳弘
- トラペジウム : 高山 一実
- 熱帯 : 森見 登美彦
- 宝島 : 真藤 順丈

公民館に本を  
借りに来てね!



石田短歌会

びわの花さばに咲けども植えくれき書道家の君逝きて久しき

相原 サツキ

柿の木の剪定するも足場なく八十路の足腰寒風厳し

徳永 吉則

鬼遣らふ声のひびきし家々の明かりの数の減れば侘しも

徳増 善久

盃に一杯飲めばほろ酔の夫の面影浮かぶ元旦

森田 薫

久に來し伊曾乃神社に金色の女神の像のうらはしく立つ

山内 美佐子

— ご案内 —  
**ボランティアフェスティバル**

日時 平成31年3月9日(土)  
 10:30~15:00  
 場所 西条市中央公民館  
 内容 ボランティア体験  
 ボランティア活動紹介  
 ボランティアのポスター展示など  
 問合せ 社会福祉協議会ボランティアセンター  
 電話: 0898-64-2600

第36回 西条市民親睦囲碁大会

日時 : 平成31年3月10日(日)  
 午前9時30分(受付9時~)  
 場所 : 西条市中央公民館  
 対象 : 囲碁愛好家  
 定員 : 60人 締め切り 3/6(水)  
 参加費 : 1,000円 昼食代を含む  
 申込み : 中央公民館又は各地区公民館  
 問合せ : 中央公民館 TEL 0898-65-4030

▼▲ お礼 ▲▼

次の方から、ご厚志を頂きました。厚くお礼を申し上げますとともに、故人のご冥福をお祈りいたします。  
 檜垣 泰敏様(故人 檜垣 重善様)  
 [玉之江老人会]

— 募集 —

**学校安全ボランティア募集について**

子どもたちが安心して登下校をしたり、学校生活を送ったりすることができるように、平成31年度の学校安全ボランティアをしていただける方を募集します。御家族だけでなく、祖父母の皆様、地域の皆様、散歩がてら子どもたちの登下校の様子を見守っていただけませんか。無理のないように、できる時だけでかまいませんので、よろしくお願い致します。

御協力いただける方は、安全ボランティアの登録用紙を小学校や公民館に置いてあります。また、吉井小学校教頭までご連絡いただいても構いません。よろしくお願い致します。



登録申込期限 : 平成31年3月20日(水)  
 問合せ : 吉井小学校64-3080

毎月10日は人権を考える日  
 —— 私たちには 生きる意味があるのよ ——

昨年9月に、樹木希林さんが亡くなったとき、最後の主演作「あん」を再度見たのがきっかけです。どら焼き屋で働く高齢のハンセン病療養所入所者を樹木さんが演じています。「どんな風に吹かれて小豆がここまでやってきたのか、旅の話を聞いてあげるの」。主人公の徳江さんは、小豆の言葉に耳を澄ましながら、愛おしそうにあんを炊いていきます。あんのおいしさが評判となり、店は繁盛します。しかし、世間の無理解に押しつぶされて店を去っていった徳江さん。

どら焼き屋の店長さんと常連客の中学生の女の子は、徳江さんに会いに療養所へ向かいます。バスに揺られて二人が到着した場所は、深い緑に覆われた静かなところでした。二人の訪問を喜びながらも、語ってくれる思い出話は、哀しいものでした。「入所するとき、母が徹夜で縫ってくれた服。初めて着る新しい服を到着したその日にすべて燃やされてしまったの」。

二度目に訪問した時には、徳江さんはもういませんでした。三日前に肺炎で亡くなっていたのです。呆然とする二人にポータブルプレーヤーが差し出されました。そこから聞こえるのは、「せっかく授かった子どもを墮ろさなくてはいけなかったこと。もしも生きていたら、店長さんと似た年頃だった。」という、徳江さんの言葉でした。

私たちに、人間としてよりよく生きる意味を伝えてくださっている本田久夫さんや磯野常二さんの姿とも重なって、涙を流しながら何度も見てしまう映画です。甘く優しい空気に包まれながら、生きていくことの強さを感じます。声高に「感動するでしょう」と押し付けてくるような作品ではないのに、穏やかな流れの中で、自然とハンセン病のことや差別、そして、日本人のもつ優しさと強さと残酷さについて考えてしまう映画です。

「私たちは、この世を見るために、聞くために、生まれてきた。だとすれば、何かになれなくても、私たちには、生きる意味があるのよ」。今でも、樹木さんのセリフが、心の中を吹きわたっています。

[西条市人権教育協議会・西条市教育委員会の人権啓発資料から抜粋]

### 3月の主な行事予定

日	月	火	水	木	金	土
					1 自力整体	2
3	4 ヨガ 休館	5 陶芸 吉井民児協	6 着物リメイク 石峰吟詠会  ガラス瓶等	7 ヨガ 百歳体操  粗大ごみ	8 盆栽管理教室 自力整体	9
10	11 ヨガ 休館	12 押し花	13 着物リメイク 石峰吟詠会  古紙	14 料理教室 ヨガ 百歳体操 芸術書道	15 吉井絵手紙 子連れヨガ 自力整体	16 子供料理教室
17	18 ヨガ 休館	19 陶芸	20 クッキング サークル 着物リメイク 石峰吟詠会	21 休館 春分の日  粗大ごみ	22 自力整体	23
24 31	25 ヨガ 休館	26 押し花	27 着物リメイク 石峰吟詠会 写真愛好会	28 ヨガ 百歳体操 芸術書道	29 自力整体	30